

福島と茨城の人と人 心と心をつなぐ

# ふうあいおたより

2023  
vol. 39



**ふうあいスタッフおすすめ**  
**水郡線&常磐線&ドライブで満喫!**  
**茨城県北～福島**  
**紅葉スポットめぐり**



## 水郡線の山方宿駅から磐城石井駅まで



水郡線の山方宿駅から磐城石井駅まで紅葉が楽しめます。ネオンカラーの、めんこい(可愛らしい)電車の車窓から秋を感じてみませんか。(11月上旬～11月中旬)

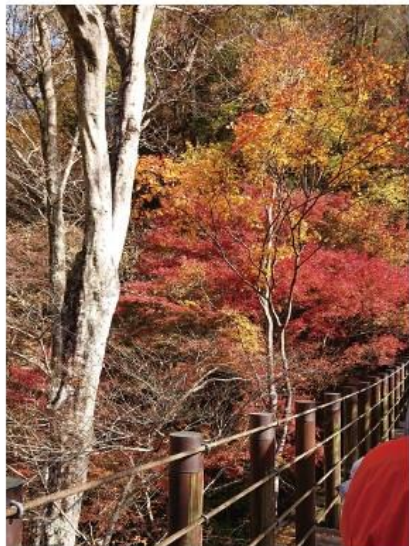
所々にある鉄橋の上では久慈川と山々の紅葉に心を奪われるほどです。

大子駅裏の高台にある永源寺(もみじ寺)の紅葉は眩しいくらいに美しい。

紅葉を見ようと多くの人々が訪れる東北地方最南端の矢祭山、駅近くにある奥久慈県立公園矢祭山は、山全体が絶景スポットと言われる場所です。

## 花貫溪谷 **高萩市**

春の新緑と秋の紅葉。季節とともに汐見吊り橋や溪谷の自然のうつろいを楽しむことができます。吊り橋からは汐見滝や小さな淵を沿って流れる花貫川の清らかな流れを見ることができます。常磐道高萩ICより約20分。(参照 高萩市観光協会)



## 花園溪谷 **北茨城市**

7kmに渡る自然豊かな溪谷の景観を車窓から楽しめます。途中の水沼ダムや花園神社周辺の紅葉も見どころです(見ごろは11月中旬)。花園神社は駐車場完備。徒歩でのんびり散歩してみたいかがでしょう。常磐道北茨城ICより約20分。



花園神社の御神木「こぶ杉」

## 武生林道 **常陸太田市**

常陸太田市の竜神峡のすぐ北側を走る約7.5kmの林道です。眼前に広がる美しい山々の風景とその間を蛇行して続いていく道は、日光のいろは坂を彷彿させます。水府地区の自然をとことん満喫できるおすすめのドライブルート。強者はぜひサイクリングでも!360°の真っ赤な山々の素晴らしい眺めは一見の価値あります。





## \* 交流会を開催しています \*

### ■ ふうあいねっと主催 9月9日 バスツアー交流会inつくば&牛久

9月9日(土)、「全員集合交流会」を開催しました。県内を巡るバスツアーは初めての試み。水戸から15人、つくばで合流して25人の参加者と、最初はつくば市の地質標本館へ。世界的にユニークな地球科学専門のミュージアム。ガイドの川鍋さんのわかりやすく丁寧な説明で、私たちの昔からの暮らしに断層や地質が大きく関わっていることを学びました。

お昼ごはんは「お料理わかば」さん。「豪華なお昼が一番よかった!」という声があったほど、どこか懐かしくとても美味しいお料理に、会話もお箸もすすみました♪

その後、バスの中で自己紹介を兼ねて交流しつつ、牛久大仏へ。初めての方がほとんどで、「中はこんなふうなんだ〜」と、感慨深く話されていました。

交流会に初めて参加された方も、避難元がわかるとすぐに打ち解けて、笑顔でお話されていました。心配されたお天気も、みなさんの元気パワーできれいな青空に!お腹も笑顔もいっぱい楽しいバスツアー交流会となりました。ご参加くださったみなさま、ありがとうございました。



### ■ NPOフュージョン社会力創造パートナーズ主催

#### 8月5日「黒糖わらび餅作り」交流会inつくば

料理研究家の鷲田美加先生をお迎えして、20名ほどの参加者が5グループに分かれて行いました。フライパンにわらび餅粉と黒糖の粉を混ぜて、お水を入れてから、へらで粘りがでるまでかき回していくのは、思ったより力が必要でした。パットに移し、冷水にさらしながら粗熱を取ると、プルプルのわらび餅ができました。調理中は作業を交代したり、「これでいいかな?」など会話をしながら、みなさん、笑顔が絶えませんでした。

その後、きな粉をまぶしたわらび餅に黒蜜やアイスクリームをのせて美味しくいただきました。



#### 9月2日「ぶどう狩り」交流会inかすみがうら

みなさんが毎年、楽しみにしている「ぶどう狩り」に参加しました。31名の方が日立市や鹿嶋市など遠方からも来られ、初めて参加される方もいました。房を切って、それぞれが椅子やレジャーシートに腰掛けて、ぶどうを食べながら家族のこと、趣味のこと、健康のことなどおしゃべりをして、のんびりと過ごしていました。

数年ぶりに会えた、ある家族の娘さん達が大きくなっていて、小さかった頃が懐かしいですし、成長して大人っぽくなっていることも嬉しく感じました。



### ■ じゃあまいいかねっと主催 9月3日 ZUMBA交流会in那珂

本格的な暑さは過ぎたもののまだ暑さが残る中、ZUMBAの体験をしてきました。こんなに早い動きをするのは何十年ぶりという声や、学校では厳しい暑さのために外に出て身体を動かすのが制限されていて、久しぶりに激しく身体を動かしたから楽しかった、という小学生からの声も聞かれました。

講師の先生からは、1に音楽を聴き、2は自分が踊りたいように踊り、3番目に私(講師)を見て踊ってくださいというアドバイスを受け、みなさん見事に音楽を楽しみ、自分流に踊り、踊り終えた時はすっきりした顔になっていました!その後の交流会では講師の先生を交え和やかに話されていました。





# よろず相談コーナー

よろず相談受付中!お気軽にご連絡ください。

相談日:火・水・木曜日(9:00~16:00) TEL.070-3182-4044 Eメール fuai.soudan@gmail.com

## 地元(福島県)に農地をお持ちのみなさんは、その農地を今、どうしていますか?

自分で管理・耕作している、誰かに貸している、地元の組合などに保全管理をお願いしている、あるいはまだ除染が済んでいないなど、様々かと思われます。補助事業により組合を作って草刈りなどの管理作業をしている地域もありますが、いずれは補助事業も終わりますので、その先を考える必要があります。



今年から国の新たな制度として「地域計画」が始まりました。地域(行政区、集落など)全体で、自分たちの農地を今後とも荒らさずに維持・発展させるためにどうしていくか考えていく制度です。全国対象の制度ですので、下記のようなことでお悩みの方は、農地がある市町村の役場にご相談してみませんか?

ところで、農地の相続はお済みでしょうか?地域計画など、農地に関するお知らせは市町村の農業委員会が管理している農地台帳に記載されている農地所有者へと送られます。農地所有者の変更手続きが済んでいない農地は、所有者不明農地として各種制度の対象から漏れてしまうことがあります。ご自分の農地がどうなっているか気になる方は、市町村の農業委員会に問い合わせしてみたいかがでしょうか?

最低限の草刈りをするのが難しい

農地は自分で耕作するのが基本だけどこの農地を誰かに貸したい

ご先祖さまから受け継いだ土地だから荒らしておきたくない

避難元の市町村役場の担当課へぜひお気軽にお問合せください。

### ~私の場合~

地元(1町歩(1ヘクタール(10,000㎡))ほどの農地があり、震災前までは年に数回草刈りをしていました。震災後は県外に避難していたので管理がほとんど出来ませんでした。除染後は地元(復興組合が出来ましたので農地の手入れを出来る方)に任せてもらっていました。その復興組合から、補助事業が、令和7年度で終了となり、その後の方針を考えるための話し合いが始まるとの連絡がありました。

遠方なので都合がつかず欠席しましたが、役場の担当窓口にご相談したところ、「地域計画」という制度が始まるとの説明をいただきました。説明を受けて自分の農地の見通しが出来たことも良かったですが、役場の担当者からも「町外にお住まいの方にどうやって連絡をとっていかかが課題となっているので、広報誌等を読んで連絡をもらえると町としてもありがたい」と言われました。



1年を通して、フードバンク茨城とともに食料品を必要な方へお届けしています。  
ふうあいねっとまで、ご遠慮なくお問い合わせください。





## ご報告 県外からの原発避難者に関する市町村アンケート

茨城県は福島県からの県外避難者の受け入れ数が全国最多となっています。  
結果の一部をご報告します。(回答の自治体 41市町村 全44市町村のうち1市2町は該当者なし)

市町村が把握している避難者数: 2377人(令和5年5月1日現在)

上記のうち「原発避難者特例法」の対象者数: 2268人(95%)

避難者は、下記のとおり分類されます。

今回のアンケートでは避難者数について伺いましたが、市町村が把握している避難者数の95%が「原発避難者特例法」対象の人数①でした。

回答があった避難者数は、「原発避難者特例法」対象外の人数②③が109人に過ぎず、十分把握されていない状況がわかりました。茨城県内の市町村では、避難者をどのように把握していくのが課題となっています。

### 原発避難者特例法対象の方々

- ① 13指定市町村(いわき市、田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、川内村、葛尾村、飯館村)から避難して、住民票が避難元にある方

### 原発避難者特例法対象外の方々

- ② 13指定市町村から避難して、茨城に住み票を移した方  
③ 13指定市町村以外から避難した方(住民票は避難元、避難先のどちらのケースもあります。)



ふうあいねっとは避難された全ての方々と共に歩んでいます

※原発避難者特例法とは ●対象者/福島県内13指定市町村から避難しており、住民票が避難元にある方  
●内 容/避難先に住民票を移すことなく、避難先で医療・福祉や教育関係等の行政サービスを受けられます

## 被災されたみなさまへ

6月上旬の取手市を中心とした浸水被害、7月の鹿行や県西地域での突風被害。さらに、先月の台風13号に伴う県北地域での大雨による被害など、県内各地で自然災害が頻発しています。被災されたみなさま、ならびにそのご家族のみなさまに心よりお見舞い申し上げます。

災害の報道があるたび、みなさまの被害状況や安否など、ふうあいねっとスタッフ一同気にかけております。何かお手伝いできることがあるかもしれません。そのような時は、ふうあいねっと事務局までご一報いただけたらと思います。

## ご寄付をいただきました

8月4日、いばらきコープ生活協同組合様より、福島県から茨城県内に避難して生活している方への支援活動に対してご寄付をいただきました。大切にさせていただきます。ありがとうございました。



## 原子力損害賠償に関する説明会 個別相談会

既に手続き中の方もいらっしゃると思いますが、4月から請求が開始されている「中間指針第五次追補等を踏まえた追加賠償」についての説明・相談会が、日立市で開催されます。

第五次追補や賠償請求などについて詳しく知りたい方、相談されたい方は、事前にご予約の上、参加されてみてはいかがでしょうか。

日時: 11月18日(土) 10時～  
場所: 日立シビックセンター

説明会・個別相談に関するお問い合わせ  
ご予約に関して

原子力相談賠償・廃炉等支援機構  
フリーダイヤル 0120-330-540  
受付時間9:30～17:00 土日も受付(祝休日を除く)

### 発行・お問い合わせ先

一般社団法人ふうあいねっと  
〒310-0851茨城県水戸市千波町1918  
茨城県総合福祉会館

TEL・FAX.029-241-5803  
Eメール fuai.sta@gmail.com

事務局携帯 TEL.070-3182-4044

公式LINE始めました!  
お友達登録をお願いします♪



### 事務局日記

- 6/20(火) 市町村訪問(つくば市・稲敷市・阿見町)
- 21(水) 市町村訪問(水戸市)
- 7/11(火) ふうあいおたより38号発行、発送
- 19(水) 市町村訪問(日立市・高萩市)
- 8/18(金) 社会的包摂サポートセンターのみなさま来所
- 25(金) 茨城県市町村連絡会議
- 9/ 9(土) 全員集合交流会(つくば市・牛久市)
- 15(金) 当事者つながる応援プロジェクト審査会
- 27(水) 市町村訪問(かすみがうら市・小美玉市・茨城町)

### 編集後記

かなづき「神無月」全国各地の神様が出雲大社に集う月からそう呼ばれている10月。食いしん坊には待ち遠しかった「実りの秋」ですね♪幼い頃、新米ご飯で祖母に作ってもらった「塩むすび」最高に美味しかった～。我が家は味噌おにぎりが人気です。皆さんはどちらが好み?秋の味覚の後は昔遊び♪記憶を辿って93歳の母と絵描き歌・あやとり・お手玉楽しんでいます。ぜひ皆さんの思い出の遊びを聞かせてください。(田中)